

令和五年度鹿屋体育大学卒業証書及び 学位記授与式 学長告辞

鹿屋体育大学体育学部卒業生及び大学院体育学研究科修了生の皆さん、本日ここに、卒業証書授与式及び学位記授与式を迎えられたことを、心からお喜び申し上げます。

皆さんは、在学中、コロナ禍が本格化した時期を経験されました。しかし、そのような状況の中、日々、感染予防をはじめ、様々な工夫や試行錯誤を繰り返しながら、スポーツや武道を実践し、かつ学び、本日ここに、卒業証書及び学位記を手に入れました。

そのためまい努力に敬意を表すると同時に、本日まで、ご子息、ご息女を温かく見守り、ご支援を惜しまれなかった、保護者の方々をはじめ、関係各位の皆様方に、心からお祝い申し上げます。

さて、卒業生及び修了生の皆さんは、スポーツや武道に関する専門的な知識や能力を習得されたことにより、本学を卒業あるいは修了するわけです。皆さんは、四月以降、全国各地において、新たな生活を営むこととなりますが、新天地において、本学で得たスポーツ、武道に関する知識や実践のノウハウを十分に活かし、社会や地域の活性化に貢献されることを期待します。

スポーツや武道の振興には、それを準備・運営するための経費、施設設備など物的環境を整える必要があることはいまでもありません。また、近年の情報通信技術の進歩は、スポーツや武道への関わり方を大きく変えつつあります。しかしながら、いつの時代であっても、最も重要なことは、スポーツや武道に直接関わる人達、そしてそれを支え、応援する人達といった人的要素だといえます。これからの時代、「スポーツや武道の価値」に関する解釈は、より一

層多様なものになっていくと考えられます。しかしどのような時代であれ、また、いかに科学的理解が進もうとも、「スポーツや武道」に対する「社会の評価」は、スポーツや武道に直接携わる人、一人一人の品位、教養、そして倫理観によつて左右されることを決して忘れないでください。

学部生の皆さんにとって、本学の卒業は、学生アスリートからの卒業を意味します。蒼天のもと自らを鍛え限界にチャレンジした日々への思い出は、この先、決して色褪せることはないでしょう。一方で、本学での学びが、皆さん自身にとつて、また社会に対して、どのような価値を持つのかを身をもって知るのは、これから先の長い人生においてだと思います。つまり、スポーツや武道そのものではなく、それらを学び、その学びを生かすことができる人生にこそ価値があるのです。四月以降、新たな挑戦をスタートする皆さん、是非、本学での学びを過ごし、まずは心身ともに健康で充実した日々を過ごしてください。そして、社会人として時代に即した倫理観や社会性を持ち、スポーツや武道を推進し、振興するリーダーの役割を担っていただけることを切に希望します。

最後に、本日、令和五年度の卒業証書授与式及び学位記授与式を挙行するにあたり、ご来賓の方々並びに保護者の皆様方のご列席を賜りましたことに厚く御礼を申し上げ、令和五年度卒業生及び修了生を祝う告辞とします。

令和六年三月二十五日

国立大学法人 鹿屋体育大学学長

金久 博昭